

# 新住居表示



「〇〇」これは現在使用している家の町名や地番による表示を訪ねたが、土地の所有権、税金を収めるために設けられたもので、数軒の家が一つに集まる「同じ番地であったり、一軒の家が二つの番地があったりする」ためです。

このため市では、新しい住居表示を行なうために、三月定例会で住居表示審議会を定めて、昭和四十二年、四十三年の間に、二年間で第一計画として、吉原、富士両地区の市街地を実施します。

## 審議会つくり 43年までに実施

住居表示審議会は、市議会議員、実施区域の代表、郵便局長、市職員など二十五人から構成されます。この審議会では新しい町界の決定や、それともなう町名の決定などを協議していきまが、町名を交える場合は長年親しんできた町名を尊重して決められます。

### 街区方式とは

「道路方式」は、道路の両側に一定の番号をふりあてます。表示する場合は富士市〇〇番〇〇号となります。

### 道路方式とは

「道路方式」は、道路の両側に一定の番号をふりあてます。表示する場合は富士市〇〇番〇〇号となります。

### 実施区域は

新しい住居表示が実施される区域は、吉原、富士地区の市街地（一平方キロ以上の人口密度四、〇〇〇人以上）の一、二五平方キロで、対象は、八幡町、富士中町、水戸島上、園久、柚木の一部です。



常陸宮ご夫妻 ◇…常陸宮ご夫妻が、4月8日福祉施設をご視察 富士市内の社会福祉施設、誠心少年少女の家、芙蓉会と無名戦士の墓・岳南忠霊廟をご視察されました。

◇…ひごろ、社会福祉問題に大へんご関心をもたれる

ご夫妻は、各施設で保母と懇談され、「恵まれない子どもたちのために、がんばってください」とねぎらいのことばをおかけになりました。

写真は斎藤市長から富士市内の説明を聞く常陸宮ご夫妻

## 宮の前公園完成

### 吉原小学校南側

青島津田土地区画整理事業は昭和三十六年から行なわれていますが、区画整理で取得した用地の宮の前公園と新通り公園の二つの児童公園をつつていきます。

吉原小学校南側に建設されていた宮の前公園はこのほどできあがり、五月五日のこどもの日に開園しました。この宮の前公園は、付近一帯が住宅地であるの比喩、こども遊びの場が少ないため区画整理で取得した用地一六〇〇平方メートル、補助をうけ、昨年十月から工費一〇〇万円をかけて建設していたもので、公園のまわりは、いちょう、しい、けやき、ヒヨドリなど約四〇〇本の木が植えられ、遊び場には、砂場、スライダースター、ブランコ、すべり台などがあります。

また、吉原警察署北側に建設中の新通り公園も敷地面積五〇〇〇平方メートル、現在第一期工事として二五〇〇平方メートルの整備をすませ、すべり台、ブランコなど、約五〇本の木が植えられ一部を開園しています。

第二期工事は、残り二五〇〇平方メートルの整地、石

## 日赤社員を募集

### 加入者は福祉事務所へ

毎年五月一日から三十一日までの一カ月間全国いっせいに日赤社員増強運動が行なわれています。

富士市は、地区婦人会（日赤奉仕団）や町内会が主になり、昭和四十二年度目標額二二八四万円をめざし、次の要領で日赤社員を多数募集しています。

◇特別社員 年額三〇〇円

毎月第三木曜日 午前九時～十二時 吉原病院前

午後一時三十分～五時 市立中央病院前

◇献血してくださるひとへ

・満一六歳以上、満六五歳以下の一ひと

・体重が男子四五磅、女子四〇磅以上のひと

・採血直前には、油濃い食物をとらないでください

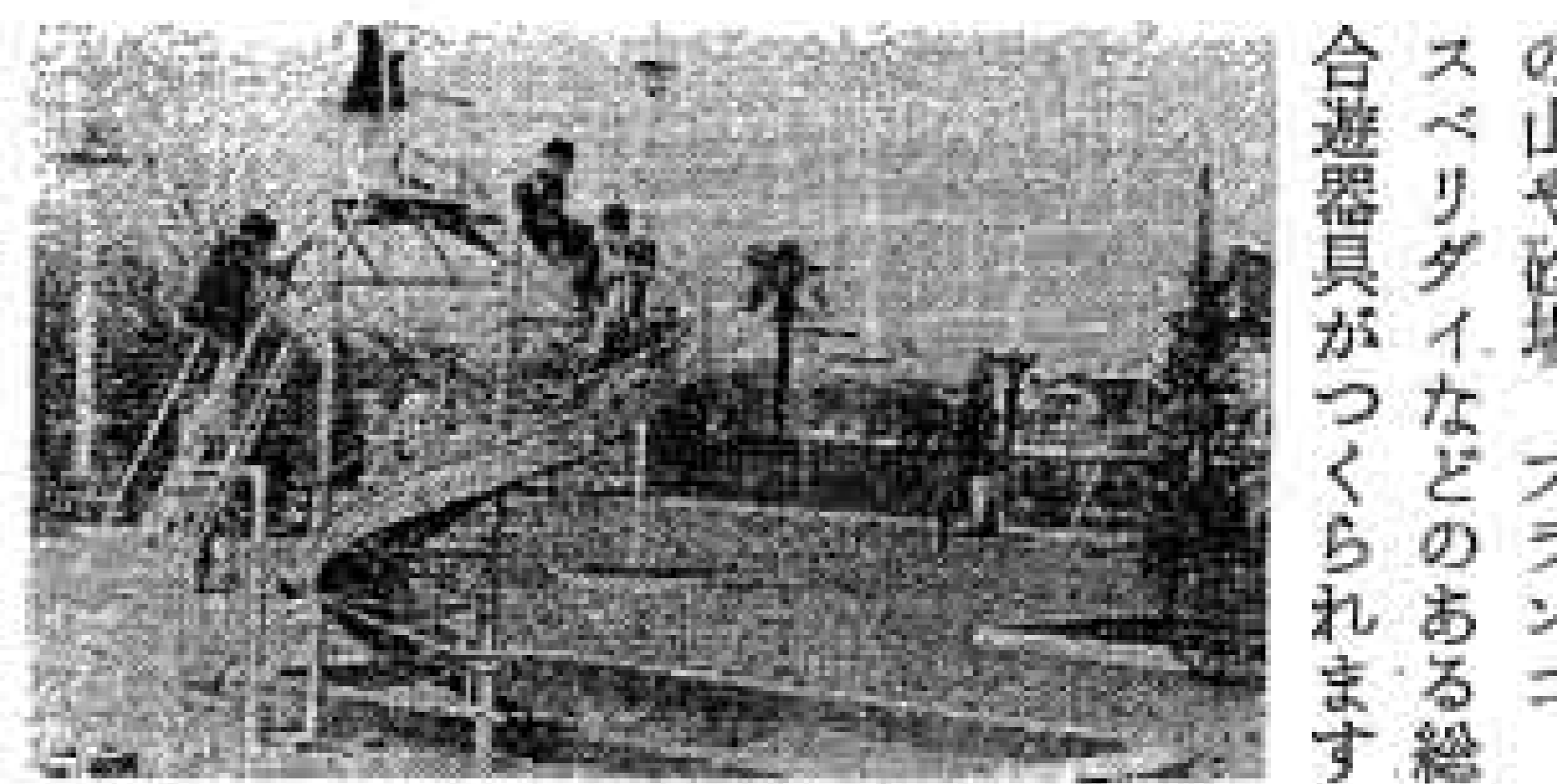
◇お問い合わせは市福祉事務所社会係へ

### 献血

静岡県血液センターの献血車が富士市へくることになりました。

健康なときに献血をしてあげば、本人はもちろん家族が交通事故にあつたときなど、輸血をするときは優先的に贈られます。

また、日赤では社員に災害時の救護、血液事業、医療施設の整備および救護法、家庭看護などの講習会を無料で行なっています。



開園した宮の前公園



(1)

## いけにえ淵

いまから約四〇〇年ほど昔の天正時代のことで、下総の国（今の千葉県）から修業のため京都に上る、七人連れの巫子（みこ）が、ありました。

早朝、三島の宿（しゆく）をたつたので疲れを覚えたのでしようか。

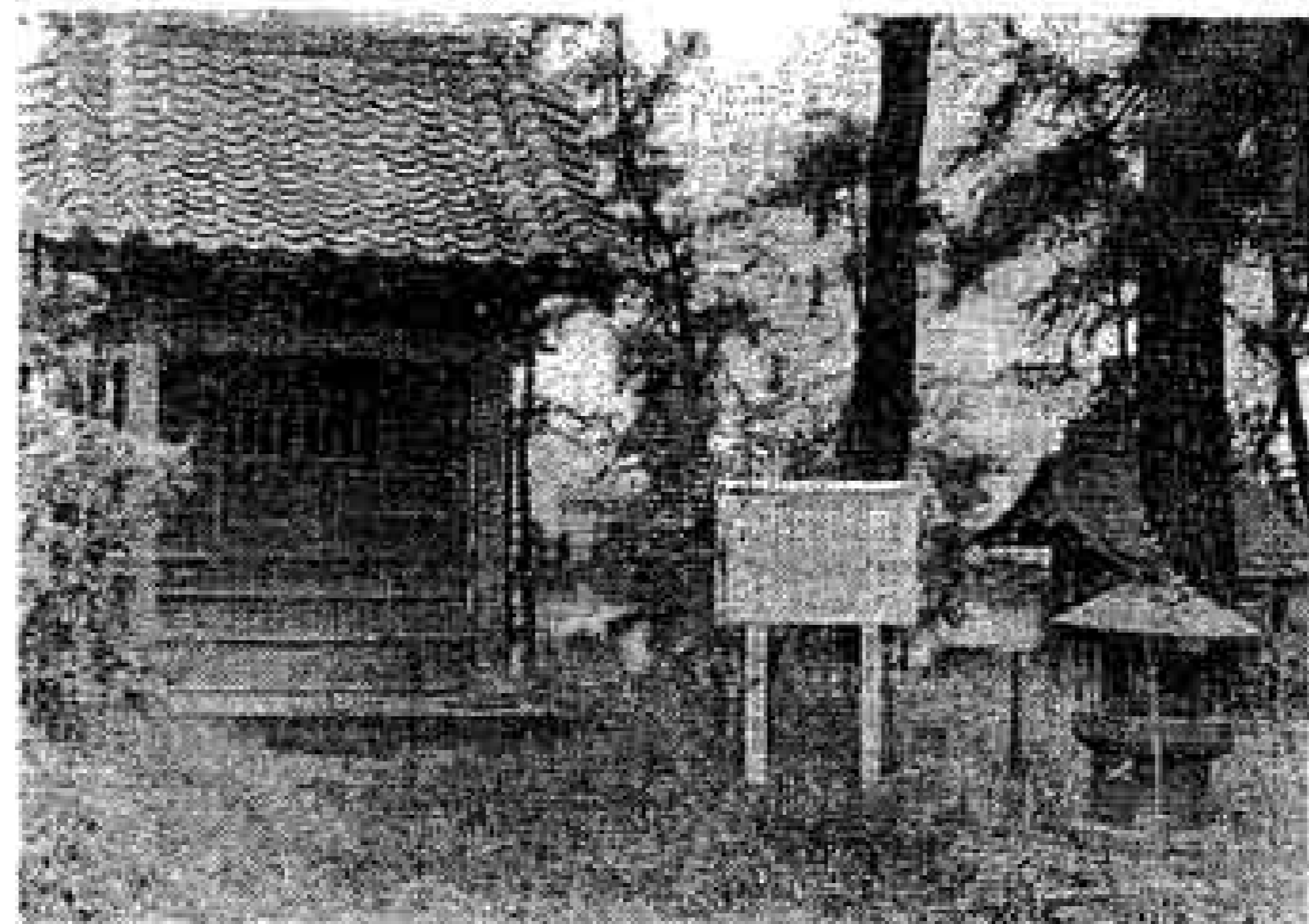
「ここで一休みしましょう」と、毘沙門天前の立場茶屋で一息入れていると、なんとなくあたりがざわわわしています。

吉原宿の東木戸が近いからかと思ひ、巫子の一人が茶屋のおかみさんに、「この宿では何かあるのですか」

「はい、はい、今日は十二年ぶりの豊の淵（いけにえのふち）の大祭りです。問屋場の前で人身御供（ひとみごころ）になる女の旅人をクジで決めるのでして」

と七人の顔をみながら次のような話をしました。

沼川、和田川、潤井川が合流している三股淵



おあじの霊をなぐさめるため鈴川砂山に建てられた「阿字神社」

りひとりクジを引きました。そして七人目が一番年下のおあじが赤い丸のついたクジを引いてしましました。

六人の巫子は翌朝、国元に知らせるため、下総へ引き返していきましたが、柏原まで来たとき「おあじ一人を犠牲にして、おあじの霊をなぐさめない」と、六人は柏原沼の七曲りに身を投げたのでした。村人は遺体を一カ所に埋め、神として祀りました。現在の東田子浦駅前六王子神社がそれだといわれています。

この頃、吉原湊の対岸前田に保寿寺という真言

(無断禁転載)